

浜の活力再生プラン
令和 6 ～ 1 0 年度
第 3 期

1 地域水産業再生委員会

組織名	佐賀県有明海地区地域水産業再生委員会（佐賀市地域）
代表者名	会長 西久保 敏（佐賀県有明海漁業協同組合 代表理事組合長）

再生委員会の構成員	佐賀県有明海漁業協同組合、 佐賀市、鹿島市、小城市、神埼市、白石町、太良町
オブザーバー	佐賀県農林水産部水産課、佐賀県有明水産振興センター

対象となる地域の範囲及び漁業の種類	佐賀県佐賀市地域（経営体数548経営体、漁業者数924名） ノリ養殖業 438経営体（※重複あり） 漁船漁業・採貝 110経営体 （令和4年10月1日現在）
-------------------	---

2 地域の現状

（1）関連する水産業を取り巻く現状等

○地域概要 ・佐賀県有明海地区でのノリ養殖は、令和 3 年度まで 1 9 年連続日本一を達成するなど国内でも有数の生産地となっている。そのうち、佐賀市地域は、生産量、生産金額ともに県全体の約 7 割を占めている。 ・有明海は干満の差が 6 m にも及び、特に佐賀市の漁場は、湾の一番奥に位置するため、干潮時には広大な干潟が形成される。 ・また、有明海は、ほぼ陸地に囲まれた“閉ざされた湾”であり、嘉瀬川や筑後川などの大きな川が、栄養豊かな水を運んでくれるため、漁業生産性の高いとても豊かな海となっている。 ・当地域内の、令和 3 年港勢調査における生産量は、海面養殖業が 4 3, 0 5 9 トン、海面漁業は 3 5 4 トンである。また、生産金額は、海面養殖業が総額 1 5, 6 2 8 百万円であり、海面漁業が 7 3 百万円で、その 9 9. 5 % が海面養殖業（ノリ）となっている。 ・当地域内のほとんどの漁家がノリ養殖業を営んでいるか、ノリ養殖に関わっている。 ○地域の現状・課題 当地域における水産業を取り巻く一般的な現状や課題は、我が国水産業全体が抱えるものと共通して、有明海の漁場生産力の低下による生産量の減少・不安定化や、消費者ニーズ・嗜好性の変化による価格の低迷・コストの増大である。またこれらに伴って、漁家経営が不安定化することによる就業者の減少や高齢化である。 なお、当地域のほとんどの漁家がノリ養殖業を営んでいるか、ノリ養殖に関わっていることから、ノリの生産にかかる現状と課題を以下に記述する。

◇ノリの生産にかかる内的環境の現状と課題

- ・漁船や乾燥機の大型化移行による生産能力の拡大に伴い、設備投資費が増大している。また、巨額な設備投資費が必要になるために、老朽化した乾燥機等の更新ができない漁家が出てきている。
- ・生産能力拡大に伴い、繁忙期における1日あたり労働時間が長時間に及んでいる。
- ・後継者がいない漁家が増加するとともに、高齢化により経営を維持できなくなる漁家もあることから、毎年、廃業する漁家が出ている。さらに、これら廃業者の漁場について、今後の利活用調整の必要がある。
- ・既存の冷凍ノリ網保管施設の老朽化及び施設不足により、各漁家は個別に保管施設の設置や業者委託を行っているため、必要経費の増加や作業効率の低下を招いている。

◇ノリの生産にかかる外的環境の現状と課題

- ・食文化の多様化や人口構造の変化に伴い、ノリの個人消費が低迷している。
- ・食の安全性の高まりの中で、新たな衛生管理機器等設備費が増大している。
- ・毎年、泊地・航路の浚渫等を行う必要があり、漁業コストが増大している。
- ・近年、漁期中の降雨量減少や赤潮発生により、漁場の栄養塩が低下するなど不安定な海況が続いている。

(2) その他の関連する現状等

- ・令和2年国勢調査における水産業就業者数は1,366人で第1次産業の21.7%だが、市町経済計算統計による総生産は67億円で、第1次産業の44.1%を占めており、水産業は、当地域の第1次産業において大きなウエイトを占めている。
- ・ノリの個別輸入割当枠拡大の合意等による安価な外国産のノリ流入に加え、令和4年度の全国的なノリの不作もあり、これまで以上に国際競争に晒されており、より高品質で低コストの生産体制が求められている。

3 活性化の取組方針

(1) 前期の浜の活力再生プランにかかる成果及び課題等

--

(2) 今期の浜の活力再生プランの基本方針

1. 漁業収入向上のための取組

(1) 販路拡大を図る取組

- ①新規顧客獲得や販路拡大のため、県内外で開催される各種イベントにおいて佐賀海苔PRブースを設ける。また、九州佐賀国際空港での帰省客への佐賀海苔配布、佐賀インターナショナルバルーンフェスタでの販売促進活動など、新たな顧客獲得のためのPR活動を推進する。
- ②地元の子どもたちへの初摘みノリのプレゼントなどのPR活動を通して佐賀海苔のおいしさを伝え、地産地消の推進を行う。

(2) 適切な漁場管理と養殖技術の向上

- ①佐賀県有明水産振興センターや近隣の大学など研究機関の協力を仰ぎ、漁業者の養殖技術のさらなる向上を目指すための研修会を開催する。
- ②漁協が佐賀県や九州大学と連携し研究に取り組んでいる赤潮発生の短期予報のシステムの確立を目指す。また、併せてドローンなどのICT技術の活用により、離れた場所からでも漁場の状況を把握し迅速に対処することで、品質の低下を最小限に防ぐ方策を検討する。

(3) 共同加工施設整備等による生産効率化

- ①老朽化した共同加工施設（大型ノリ自動乾燥機等）の機器の更新により、施設の生産効率を回復させる。（5年間で33ライン更新予定）
- ②機器等導入支援等を行い、個人での生産設備の大型化や省エネ機器導入による生産効率向上を図る。

2. 漁業コスト削減のための取組

(1) 施設整備等による経営効率化

- ①新たな共同加工施設1施設の整備を行い、新たな利用者の経営効率化を図る。
- ②既存共同加工施設の有効活用により、新たな利用者の経費を削減し経営効率化を図る。
- ③地域のさらなる経営効率化を目指し、共同利用施設や関連機器の整備について検討を行い実現につなげる。

(2) 漁港維持管理における負担軽減

- ①現在、実施している公共事業における泊地浚渫と並行して、より負担が少ない新たな手法の検討を行う。

3. 漁村の活性化のための取組

(1) 海業の検討

- ①現在のノリ養殖を中心とした漁業に加え、新たな漁業収入向上の取組として、海業の可能性の検討を行う。

(2) 直売所「まえうみ」の活用

- ①直売所「まえうみ」において、県内外からの来訪者と地元漁業者が触れ合えるような取組みを実施し、人々の新たな交流の場としての活用を検討する。

(3) 漁協青年部の小学校での地域貢献活動

①地域の学校で水産業普推進活動に取り組んできた一部の支所青年部の先進的な事例をもとに、これまで取組のなかった支所青年部の新たな活動に拡大し、子どもたちの水産業への関心を高める。

(4) 担い手の確保と育成

- ①老朽化した漁船の更新事業について、中核的漁業者を優先的に取り扱うことで、経営の安定を図り、意欲のある担い手の確保につなげる。
- ②漁業の担い手に対して、佐賀県高等水産講習所への入所を推進し、ノリ養殖に必要な技術を習得した即戦力となる新規就業者確保の取組を進める。

(3) 資源管理に係る取組

- ・ノリ養殖に関しては、「新うまい佐賀のりづくり運動推進本部」の指針を遵守する。
- ・漁船漁業に関しては、漁業許可条件を遵守する。
- ・各種漁業権行使規則を遵守する。

(4) 具体的な取組内容

1 年目（令和 6 年度） 所得向上率（基準年比） 1 4. 3 %

漁業収入向上のための取組	(1) 販路拡大を図る取組 ①令和 6 年度に開催される「SAGA 2024 国スポ・全障スポ」において、全国から訪れる選手や観客等に対し佐賀海苔の PR を行い、新たな顧客獲得に努める。また、九州佐賀国際空港での帰省客への佐賀海苔配布や、バルーンフェスタでの佐賀海苔の販促活動により県内外の新たな顧客獲得につなげる。 この取組は、2 年目以降も継続して実施する。 ②地元の子どもたちへの初摘みノリのプレゼントなどの PR 活動を通して佐賀海苔のおいしさを伝える。 この取組は、2 年目以降も継続して実施する。 (2) 適切な漁場管理と養殖技術の向上 ①漁業者の養殖技術の向上を目指すための研修会を開催し、ノリの品質向上につなげる。（目標：漁家全体の 3 割参加） ②漁場での赤潮発生の短期予報システムの確立を目指し実証実験を行う。また、ドローンを活用した漁場の状況確認方法の検討を行う。 (3) 共同加工施設整備等による経営効率化方針 ①老朽化した大型ノリ自動乾燥機について、整備計画に沿って更新することで、施設の生産能力を改善し利用者の所得向上につなげる。（予定：18 ライン更新） この取組みは、2 年目以降も計画に沿って実施する。 ②機器等導入緊急対策事業を活用し、老朽化したノリ加工施設の機器等の更新をスムーズに行い、生産能力の向上、漁家の所得アップにつなげる。 （見込：11 件実施） この取組は、2 年目以降も継続して実施する。
---------------------	---

漁業コスト削減 のための取組	(1) 施設整備等による経営効率化 ①令和8年度に整備予定の共同加工施設1施設について、基本計画の策定に向けた準備を行う。 ②既存の共同加工施設で、新たな利用者を受け入れる余力があるものを調査し、利用希望者を募る。 ③地域の経営効率化につながる、共同利用施設や関連機器の整備についての検討を行う。 (2) 漁港維持管理における負担軽減 ①近隣の市町の泊地浚渫の現状を調査し、各市町のメリット・デメリット等を確認する。
漁村の活性化の ための取組	(1) 海業の検討 ①ノリ養殖漁業者の新たな漁業収入向上の取組として遊漁船を活用した観光など、実現可能な海業の可能性の検討を行う。 (2) 直売所「まえうみ」の活用 ①直売所「まえうみ」において、県内外からの来訪者と地元の漁業者が触れ合えるような取組みについて、漁業者に直接意見を聞くなどアイデアを募る。 (3) 漁協青年部の小学校での地域貢献活動 ①これまで地域の学校での水産業普推進活動に取り組んできた、青年部の先進的な事例について、その詳細な内容などの情報を、管内の支所青年部間で共有する。 (4) 担い手の確保と育成方針 ①老朽化した漁船の更新事業について、中核的漁業者を優先的に取り扱うことで、経営の安定を図り、意欲のある担い手の確保につなげる。(見込：12件実施) この取組は、2年目以降も継続して実施する。 ②漁協での全体集会等で新規就業者の講習所への入所を推進し、即戦力としての担い手育成に努める。(目標：入所2名増) この取組は、2年目以降も継続して実施する。
活用する支援措 置等	水産業強化支援事業、水域環境保全創造事業、水産物供給基盤機能保全事業、漁港機能増進事業、水産多面的機能発揮対策事業、競争力強化型機器等導入緊急対策事業、水産業競争力強化漁船導入緊急支援事業、水産業競争力強化緊急施設整備事業、漁業経営セーフティネット構築事業、佐賀県沿岸漁業振興特別対策事業、佐賀県漁港小規模事業、その他事業(未定)

漁業収入向上の ための取組	(1) 販路拡大を図る取組 ①市の商業部門等と連携し、県外のイベントでの出展に際し、全国から訪れる入場者等に対し佐賀海苔のPRを行い、新たな顧客獲得に努める。また、九州佐賀国際空港での帰省客への佐賀海苔配布や、バルーンフェスタでの佐賀海苔の販促活動を継続し、県内外の新たな顧客獲得につなげる。 ②地元の子どもたちへの初摘みノリのプレゼントを継続して実施し、日本有数の産地である地元佐賀で採れる、海苔のおいしさを伝える。 (2) 適切な漁場管理と養殖技術の向上 ①漁業者の養殖技術のさらなる向上を目指すための、研修会を開催し参加者の増員を目指す。（目標：漁家全体の4割参加） ②漁場での赤潮発生の短期予報のシステムの確立を目指し実証実験を継続する。また、ドローンを活用した漁場の状況確認について、課題の洗い出しを行う。 (3) 共同加工施設整備等による経営効率化方針 ①老朽化した大型ノリ自動乾燥機について、整備計画に沿って更新することで生産能力の向上、漁家の所得アップにつなげる。（予定：7ライン更新） ②機器等導入緊急対策事業を活用し、老朽化したノリ加工施設の機器等の更新をスムーズに行い、漁家の所得向上を図につなげる。（見込：11件実施）
漁業コスト削減 のための取組	(1) 施設整備等による経営効率化 ①次年度建設を予定する、共同加工施設1施設について、整備に向けた基本計画を策定する。 ②既存の共同加工施設の利用について、希望者に斡旋を行い、利用者の経費を削減し経営効率化を図る。 ③地域の経営効率化につながる、共同利用施設や関連機器の整備についての検討を行う。 (2) 漁港維持管理における負担軽減 ①ガット船による除去以外の安価で効率的な除去手法について、関係市町での協議の場をつくり、最適な手法・組合せなどの検討を行う。
漁村の活性化の ための取組	(1) 海業の検討 ①これまで検討してきた中で、実現の可能性の高い海業を選定し、実施に向けた具体的な内容について検討する。 (2) 直売所「まえうみ」の活用 ①直売所「まえうみ」において、来訪者と地元の漁業者が触れ合えるような取組みを実施し交流を深めていく。併せて、リピーターを増やすための方策も検討していく。 (3) 漁協青年部の小学校での地域貢献活動

	①先進事例をもとに、これまで実績のなかった支所青年部で、新たに市内の小学校などで佐賀海苔の講義を実施する機会を創設し、地元の子供たちと漁業者との交流を推進する。 (4) 担い手の確保と育成方針 ①老朽化した漁船の更新事業を実施し、利用者の経営の安定を図り、意欲のある担い手の確保につなげる。(見込：12件実施) ②漁協での全体集会等で新規就業者の講習所入所推進を図り、即戦力としての担い手育成に努める。(目標：入所2名増)
活用する支援措置等	水産業強化支援事業、水域環境保全創造事業、水産物供給基盤機能保全事業、漁港機能増進事業、水産多面的機能発揮対策事業、競争力強化型機器等導入緊急対策事業、水産業競争力強化漁船導入緊急支援事業、水産業競争力強化緊急施設整備事業、漁業経営セーフティネット構築事業、佐賀県沿岸漁業振興特別対策事業、佐賀県漁港小規模事業、その他事業(未定)

3年目(令和8年度) 所得向上率(基準年比) 18.4%

漁業収入向上のための取組	(1) 販路拡大を図る取組 ①市の商業部門等と連携し、県外のイベントでの出展に際し、全国から訪れる入場者等に対し佐賀海苔のPRを行い、新たな顧客獲得に努める。また、九州佐賀国際空港での帰省客への佐賀海苔配布や、バルーンフェスタでの佐賀海苔の販促活動により県内外の新たな顧客獲得につなげる。 ②1年目以降継続して、地元の子どもたちへの初摘みノリのプレゼントなどのPR活動を通して佐賀海苔のおいしさを伝え、地産地消の推進を行う。 (2) 適切な漁場管理と養殖技術の向上 ①漁業者の養殖技術の向上を目指すための研修会を開催し、参加者のさらなる増員を目指す。(目標：漁家全体の5割参加) ②漁場での赤潮発生の短期予報のシステムについて、引き続き実証実験を行いながら、適正な設置箇所や設置数など検討を行う。また、ドローンを活用した漁場の状況確認方法について、漁場での実証実験を行う。 (3) 共同加工施設整備等による経営効率化方針 ①老朽化した大型ノリ自動乾燥機について、整備計画に沿って更新することで、生産能力の向上、漁家の所得アップにつなげる。(予定：5ライン更新) ②機器等導入緊急対策事業を活用し、老朽化したノリ加工施設の機器等の更新をスムーズに行い、漁家の所得向上につなげる。(見込：11件実施)
漁業コスト削減のための取組	(1) 施設整備等による経営効率化 ①本年度、共同加工施設1施設の整備を行い、運用を開始する。 ②既存の共同加工施設の利用について、利用者の感想を聞き取り、課題などの検証を行う。検証結果を踏まえ、新たに希望者を募る。 ③地域の経営効率化につながる、共同利用施設や関連機器の整備についての検討を行う。 (2) 漁港維持管理における負担軽減

	①より負担の少ない浚渫手法検討において、関係市町での協議結果をもとに最適な除去手法についての方向性を決定する。
漁村の活性化のための取組	(1) 海業の検討 ①海業の新たな取組について、漁業者への提案を行い実施可能な漁業者を募る。 (2) 直売所「まえうみ」の活用 ①直売所「まえうみ」において、来訪者と地元の漁業者が触れ合えるような取組みを継続して実施し交流を深めていく。また、魅力的な商品のラインナップの見直しなどリピーターを増やす取組みも実施していく。 (3) 漁協青年部の小学校での地域貢献活動 ①これまで実績のなかった支所青年部で、新たに市内の小学校などで佐賀海苔の講義を実施し、また、取組みを行ってきた青年部についても継続していくことで、地元の子供たちと漁業者との距離を近づけて行く。 (4) 担い手の確保と育成方針 ①老朽化した漁船の更新事業について、中核的漁業者を優先的に取り扱うことで、経営の安定を図り、意欲のある担い手の確保につなげる。（見込：12件実施） ②漁協での全体集会等で新規就業者の講習所入所の推進を図り、即戦力としての担い手育成に努める。（目標：入所2名増）
活用する支援措置等	水産業強化支援事業、水域環境保全創造事業、水産物供給基盤機能保全事業、漁港機能増進事業、水産多面的機能発揮対策事業、競争力強化型機器等導入緊急対策事業、水産業競争力強化漁船導入緊急支援事業、水産業競争力強化緊急施設整備事業、漁業経営セーフティネット構築事業、佐賀県沿岸漁業振興特別対策事業、佐賀県漁港小規模事業、その他事業(未定)

4年目（令和9年度） 所得向上率（基準年比）20.4%

漁業収入向上のための取組	(1) 販路拡大を図る取組 ①市の商業部門等と連携し、県外のイベントでの出展に際し、全国から訪れる入場者等に対し佐賀海苔のPRを行い、新たな顧客獲得に努める。また、九州佐賀国際空港での帰省客への佐賀海苔配布や、バルーンフェスタでの佐賀海苔の販促活動により県内外の新たな顧客獲得につなげる。 ②地元の子どもたちへの初摘みノリのプレゼントなどのPR活動を通して佐賀海苔のおいしさを伝え、地産地消の推進を行う。 (2) 適切な漁場管理と養殖技術の向上 ①漁業者の養殖技術のさらなる向上を目指すため、研修会を開催し参加者の増員を目指す。（目標：漁家全体の6割参加） ②漁場での赤潮発生の短期予報のシステムについて、実際の運用に向けて実証実験を行いながら問題点を解消していく。また、ドローンを活用した漁場の状況確認方法について、漁場での実証実験を行いながら
--------------	---

	安定した情報の取得を目指す。 (3) 共同加工施設整備等による経営効率化方針 ①整備計画により更新を行ってきた、共同加工施設の大型ノリ自動乾燥機の生産能力を維持し、漁家の所得アップにつなげる。(更新予定なし) ②機器等導入緊急対策事業を活用し、老朽化したノリ加工施設の機器等の更新をスムーズに行い、漁家の所得向上につなげる。(見込：11件実施)
漁業コスト削減のための取組	(1) 施設整備等による経営効率化 ①昨年度整備した共同加工施1施設も含め、これまでに整備した共同利用施設の効率的な運用を行う。 ②希望者に既存の共同加工施設の利用を斡旋し、利用者の経費削減により経営効率化を図る。(目標：1漁家) ③地域の経営効率化につながる、共同利用施設や関連機器の整備についての検討を行う。 (2) 漁港維持管理における負担軽減 ①より負担の少ない浚渫手法検討において、これまでの検討結果から導かれた最適な方法を実践して行く。
漁村の活性化のための取組	(1) 海業の検討 ①実施を予定する漁業者と、実施に向けてのスケジュールの調整など詳細な計画を策定する。 (2) 直売所「まえうみ」の活用 ①直売所「まえうみ」において、来訪者と地元の漁業者が触れ合えるような取組みを継続して実施し交流を深めていく。また、来訪者にアンケートを実施するなど、意見を取り入れながら新たな取組みを検討する。 (3) 漁協青年部の小学校での地域貢献活動 ①これまで実績のなかった支所青年部で、新たに市内の小学校などで佐賀海苔の講義を実施し、また、取組みを行ってきた青年部についても継続していくことで、地元の子供たちと漁業者との距離を近づけて行く。 (4) 担い手の確保と育成方針 ①老朽化した漁船の更新事業について、中核的漁業者を優先的に取り扱うことで、経営の安定を図り、意欲のある担い手の確保につなげる。(見込：12件実施) ②漁協での全体集会等で新規就業者の講習所入所の推進を図り、即戦力としての担い手育成に努める。(目標：入所2名増)
活用する支援措置等	水産業強化支援事業、水域環境保全創造事業、水産物供給基盤機能保全事業、漁港機能増進事業、水産多面的機能発揮対策事業、競争力強化型機器等導入緊急対策事業、水産業競争力強化漁船導入緊急支援事業、水産業競争力強化緊急施設整備事業、漁業経営セーフティネット構築事業、佐賀県沿岸漁業振興特別対策事業、佐賀県漁港小規模事業、その他事業(未定)

漁業収入向上のための取組	(1) 販路拡大を図る取組 ①市の商業部門等と連携し、県外のイベントでの出展に際し、全国から訪れる入場者等に対し佐賀海苔のPRを行い、新たな顧客獲得に努める。また、九州佐賀国際空港での帰省客への佐賀海苔配布や、バルーンフェスタでの佐賀海苔の販促活動により県内外の新たな顧客獲得につなげる。 ②地元の子どもたちへの初摘みノリのプレゼントなどのPR活動を通して地元が誇る名産品である佐賀海苔のおいしさを伝え、地元でのファンを増やすことで消費拡大につなげていく。 (2) 適切な漁場管理と養殖技術の向上 ①漁業者の養殖技術のさらなる向上を目指すため、研修会を開催し参加者の増員を目指す。今後も研修会を継続し、高い養殖技術を維持しながら、さらなる改善を目指していく。（目標：漁家全体の7割参加） ②漁場での赤潮発生の短期予報について、実証実験と問題点解消を繰り返しながら、運用を目指しシステムの精査を行っていく。また、ドローンを活用した漁場の状況確認についても、適正な確認箇所の選定、確認箇所数など必要な情報を得るための運用方法を確立させ、近々での実用化を目指す。 (3) 共同利用施設整備等による経営効率化方針 ①老朽化した大型ノリ自動乾燥機について、整備計画に沿って更新することで、生産能力の向上につなげる。また、これまで更新を行ってきた施設の生産能力を維持していくことで、漁業者の所得アップにつなげる。（予定：3ライン更新） ②機器等導入緊急対策事業を活用し、老朽化したノリ加工施設の機器等の更新をスムーズに行い、漁家の所得向上につなげる。また、今後も引き続き機器等の更新により、生産能力の回復を図っていく。（見込：11件実施）
漁業コスト削減のための取組	(1) 施設整備等による経営効率化 ①これまでに整備した共同加工施設の効率的な運用を行う。 ②これまでの既存施設の利用者の意見を集約し、情報を提供しながら新たな利用者を募る。 今後、共同加工施設を利用していない漁家のニーズを踏まえながら、新たに施設整備を必要とするのかなど、施設の効率的な運用について考えて行く。 ③地域の経営効率化につながる、共同利用施設や関連機器の整備についての検討を行う。 (2) 漁港維持管理における負担軽減 ①より負担の少ない浚渫手法検討において、これまでの検討結果による最適な方法で実施し、今後その結果を検証していく。

漁村の活性化のための取組	(1) 海業の検討 ①海業の取組を実践し、その結果をもとに、今後、新たな収入として継続して取組めるのかを検証する。 (2) 直売所「まえうみ」の活用 ①これまでの取り組みを継続することで来訪者を増やしながら、直売所「まえうみ」を、来訪者と漁業者がいつでも触れ合える場所となることを目指す。 (3) 漁協青年部の小学校での地域貢献活動 ①漁協青年部で、市内の小学校などで佐賀海苔の講義を実施し、子どもにとって漁業が身近となり、将来、漁業者を目指す子どもが一人でも多くなるよう、今後も取組みを継続していく。 (4) 担い手の確保と育成方針 ①老朽化した漁船の更新事業について、中核的漁業者を優先的に取り扱うことで、経営の安定を図って行く。また、今後も事業を継続しながら、担い手の生産への意欲を高めていく。(見込：12件実施) ②漁協での全体集会等で講習所入所推進を図り、即戦力としての担い手育成に努める。今後も引き続き、ノリ養殖に必要な技術を備えた人材の育成を推進する。(目標：入所2名増)
活用する支援措置等	水産業強化支援事業、水域環境保全創造事業、水産物供給基盤機能保全事業、漁港機能増進事業、水産多面的機能発揮対策事業、競争力強化型機器等導入緊急対策事業、水産業競争力強化漁船導入緊急支援事業、水産業競争力強化緊急施設整備事業、漁業経営セーフティネット構築事業、佐賀県沿岸漁業振興特別対策事業、佐賀県漁港小規模事業、その他事業(未定)

(5) 関係機関との連携

・佐賀県、佐賀市、佐賀県有明海漁業協同組合及び佐賀県有明水産振興センターなど研究機関と効果発揮のため連携を図り、協力・指導を仰ぐ。 ・県内外の流通、販売業者とも連携を図っていく

(6) 取組の評価・分析の方法・実施体制

浜プランの取組の成果を評価・分析するため、毎年度末に開催する会員会議において、プランの進捗状況を審議し、さらに、外部専門家の意見を交えながら、次年度の取組の改善等を図る。
--

4 目標

(1) 所得目標

漁業者の所得の 向上10%以上	基準年	
	目標年	

(2) 上記の算出方法及びその妥当性

--

(3) 所得目標以外の成果目標

① 柵数減少の抑制	基準年	令和5年度：190,435 柵
	目標年	令和10年度：187,255 柵

② 新規漁業就業者数の増加	基準年	平成30年度～令和4年度5中3平均： 新規漁業就業者 7.3 人／年
	目標年	令和6年度～令和10年度平均： 新規漁業就業者 7 人／年

(4) 上記の算出方法及びその妥当性

① 柵数減少の抑制 平成30年度～令和5年度までの過去5年間における、ノリ養殖業行使者と張込み柵数の推移から算出したものである。今期のプランに沿って、老朽化した漁船やノリ自動乾燥機などの機器の更新等により個々の漁家の生産効率をアップさせ、生産量を増加させることによって柵数の減少を最小限に留めることが見込めるため、目標は妥当と判断する。
② 新規漁業就業者数の増加 平成30年度～令和4年度までの過去5年間における新規漁業就業者数は、平成30年

度：7人、令和元年度：10人、令和2年度：6人、令和3年度：7人、令和4年度：8人（5年累計38人）となっている。漁家数が減少傾向にあるが、中核的漁業者への経営安定の方策や高等水産講習所への入所推進により新規就業者の支援を行うことで、毎年度7人の新規漁業就業者の増員（累計35人）を図る。

5 関連施策

活用を予定している関連施策名とその内容及びプランとの関係性

事業名	事業内容及び浜の活力再生プランとの関係性
水産業強化支援事業（国）	共同利用施設の新設、改築など機能強化により、経費削減など経営の安定を図る。
水域環境保全創造事業（国）	海底耕耘、作れいなどにより漁場環境を改善し、水産物の品質向上を図る。
水産物供給基盤機能保全事業（国）、漁港機能増進事業（国）、漁港小規模事業（県）	漁港の泊地浚渫や漁港施設の機能向上等により、作業効率向上や水産物の鮮度維持により経営の安定を図る。
水産多面的機能発揮対策事業（国）	カキなどの稚貝沈着促進、浮遊物・堆積物の除去により、漁場環境改善・資源増大など干潟の保全を図る。
競争力強化型機器等導入緊急対策事業（国）	老朽化した機器の更新により、生産性を向上させ漁業者所得向上を図る。さらに1人あたり柵数の増加にもつなげる。
水産業競争力強化漁船導入緊急支援事業（国）	老朽化した漁船の更新について、中核的漁業者を優先し導入を推進し、性能を向上させる。これにより生産性を向上させ漁業者所得向上を図る。さらに1人あたり柵数の増加にもつなげる。
水産業競争力強化緊急施設整備事業（国）	共同加工施設など共同利用を目的とした施設を整備し、経費削減など利用者の経営の効率化を図る。
漁業経営セーフティネット構築事業（国）	燃油価格高騰による経費増加に備えることで、経営の安定を図る。
ALPS処理水の海洋放出に伴う影響を乗り越えるための漁業者支援事業（国）	ALPS処理水海洋放出の影響を受けた漁業者の、持続可能な漁協継続を実現するための取組を支援する。
沿岸漁業振興特別対策事業（県）	漁業関連施設等の整備や漁場環境等改善により、沿岸漁業の振興を図る。